

青野原俘虜収容所里帰り演奏会・ウィーン公演における報告

1、はじめに

9月1日～8日のおよそ1週間、神戸大学交響楽団の管・打・コントラバスパートから募った29名が、オーストリア・ウィーンにおいて、青野原俘虜収容所里帰り演奏会で演奏いたしました。長期にわたる準備と、たくさんの人々からのご支援により、2回の演奏会を無事成功させることができ、貴重な体験をすることができました。感謝申し上げます。

2、ウィーン公演の記録

9月1日（月）

- ・関西国際空港からルフトハンザ航空に乗り、フランクフルトを経由し、ウィーンへ。
→添乗員さんがいない中、乗継ぎも含めての長い旅路でした。預けた楽器が凹むなどのトラブルも…。
- ・ウィーン空港から宿泊先、アイロタワーホテルへ。
→ウィーン郊外にあるホテルで、市内に出るまでトラム（路面電車）で約40分かかりましたが、まわりには自然に溢れた公園があり、とても落ち着いた場所でした。

9月2日（火）

- ・現地のガイドさん（ウィーン大学日本語科の生徒さん）と顔合わせ。1つ目の会場の国家文書館へ。
- ・国家文書館で練習（約3時間）
→広々とした会議室が本番会場でした。
- ・各自、市内で夕食→ホテルへ

9月3日（水）

- ・午前中フリー（一部の団員で5日の本番会場、軍事史博物館を下見）
→この時間帯に市内を観光、お土産を買いにスーパーに行く団員が多かったようです。
- ・国家文書館に現地集合→ゲネ。
- ・展示会、開会セレモニー→演奏会。（展示会がメイン）
→本来、こちらは関係者のみの演奏会だったのですが、一般公開と間違われて宣伝されていたようで、思いがけず満員の演奏会になりました。
- ・終演後、立食パーティー

9月4日（木）

- ・1日フリー
→このフリーを利用して、市内をじっくり観光したり、足を伸ばしてザルツブルクやリンツ、ハルシュタット、さらにはハンガリーまで行ったりする人もいました。

9月5日(金)

- ・午前中フリー、昼からガイドさんとともに軍事史博物館へ。
- ・ゲネ、本番。(演奏会がメイン)
→会場の規模が大きすぎて、お風呂場以上の残響でした。(残響時間5秒ほど…)
こちらが一般公開のはずだったのですが、3日の方になってしまったため、関係者のみ。用意したイスの数に対し、お客さんの数が非常に少ない結果になりました。しかし、普段できない場所での演奏をすることができ、すごく貴重な体験をすることができました。
- ・終演後、立食パーティー。



↑5日の本番の様子。

9月6日(土)

- ・1日フリー
→最後の日ということで、朝早くから観光する人が多かったです。主に市内を散策、ウィーン料理やカフェでザッハートルテなどを食べたり、数々の美術館・博物館を見物したりしました。またこの日は国立歌劇場(オペラ座)でヴェルディの「運命の力」が公演され、立ち見席では団員のほとんどが鑑賞していました。

9月7日(日)～8日(月)

- ・ウィーン空港からフランクフルトを経由し、関西国際空港へ。
→帰りもトラブル続きでした。荷物が紛失・破損したりなどしましたが、何とか対処しました。
何はともあれ29人全員、無事に日本に帰国できました。

●行く人が多かったスポット

- ・シュテファン寺院
市内の中心にあるウィーンのシンボル。寺院の高さは世界で3番目。
- ・王宮
中に古楽器博物館などがありました。
- ・シェーンブルン宮殿
世界遺産の1つ、マリア・テレジアやマリー・アントワネットも暮らした城。
- ・中央墓地
オーストリアの有名人が葬られている名誉地区にはベートーヴェンやブラームスの墓碑がありました。
- ・ハイリゲンシュタット〜グリンツリング
ベートーヴェンの遺書があった家や、マーラーの墓があります。
- ・美術史、自然史博物館
ブリューゲルやデューラーなどの有名な絵などがありました。
- ・ベルヴェデーレ宮殿
宮殿や庭自体もきれいなのですが、中でも展示されているクリムトの「接吻」はとても印象深かったです。

……などなど

3、演奏会

私たちは、9月3日（水）に国家文書館で、5日（金）に軍事史博物館で、発達科学部助教 田村文生先生の指揮により、それぞれ以下の6曲を演奏しました。

- ① トマ作曲 歌劇「レーモン」序曲
 - ② ヴュータン作曲 夢想（田村先生の編曲による）
 - ③ グリーグ作曲 「ペールギュント」より ソルヴェイグの歌
 - ④ ベルリオーニ作曲 歌劇「ノルマ」序曲
 - ⑤ ワーグナー作曲 歌劇「タンホイザー」より 巡礼の合唱
 - ⑥ シューベルト作曲 軍隊行進曲第1番
- （アンコール）真島俊夫編曲 あの日聞いた歌（日本の歌メドレー）

馴染み深い曲から知られていない曲までどれも大変な曲でしたが、お客さんに喜んでいただけて本当によかったです。サマーコンサートが終わり、約2ヶ月間という短い時間でしたが、田村先生の熱い指導の下、何とか7曲とも形にできました。

4、募金報告

私たちは主に、尼崎でのサマーコンサート、小野市のエクラホールでの公演、学内の滝川記念館での公演の3回に渡り募金活動を行いました。

サマーコンサート	…105,888 円
小野市公演	…70,946 円
+) 学内公演	…61,400 円
総計	…238,234 円

これを渡航費の補助金に充てたり、しおり・募金箱などを作るなどの運営資金に充てたりしました。募金と同時にたくさんの方からのご声援も頂けて、とてもありがたかったです。また響友会の皆様からもたくさんの募金を頂きました。本当にありがとうございました。

5、最後に

今回私たちは、この大プロジェクトに重要な役割として関わることができました。その機会を作ってくださった皆様、そしてこのプロジェクトを応援してくださった皆様には、団員一同本当に感謝しております。この経験を今後の神戸大学交響楽団の発展に役立てていけるよう、これからも精進していきたく思っています。これからも神戸大学交響楽団をよろしく願います。

神戸大学交響楽団 3 回生渉外マネージャー
Cl. 藤井 大樹